

芝生用除草剤
シバッチ[®] 乳剤
(S-メトラクロール乳剤)

農林水産省登録第22791号

成分: S-メトラクロール 83.7% 普通物
包装: 1Lx6
有効年限: 3年
危険物: 第4類第3石油類

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 使用後の空き袋は圃場などに放置せず適切に処理してください。

お問い合わせは

製造・販売

シンジェンタ ジャパン株式会社

ローン アンド ガーデン事業本部

〒104-6021 東京都中央区晴海1-8-10 オフィスタワーX21階
(TEL) 03-6221-3802 (FAX) 03-6221-3899
www.syngenta.co.jp/golf/

※この印刷物の記載内容は2010年11月現在のものです。10年11月作成 (SEK6K・10)

®はシンジェンタの登録商標

syngenta

技術資料

農林水産省登録
第22791号

芝生用除草剤
シバッチ[®] 乳剤
シバッチで
バッチシ!

- ダラダラ発生傾向の雑草への対応がバッチシ!
- 予算内での雑草管理対策がバッチシ!

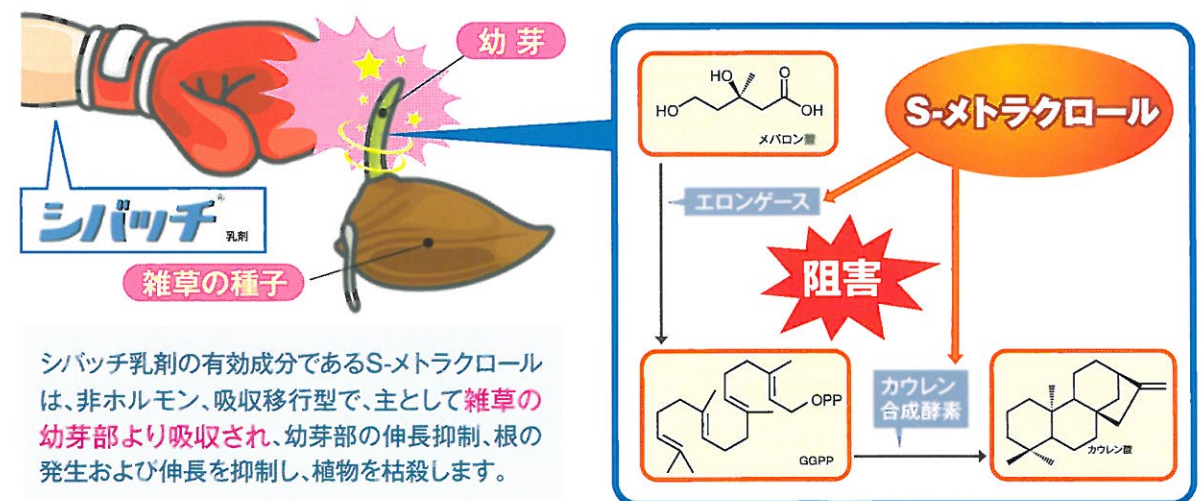
シバッチ[®] 乳剤 メヒシバに対する優れた効果



**メヒシバに対して
高い効果を示します。**

試験場所 / 大阪府Aゴルフ場
芝種 / ノシバ
薬剤処理日 / 2010年4月13日
(メヒシバ発生前)
調査撮影日 / 2010年7月7日
(処理85日後)
薬量 / シバッチ0.3mL/m²
散布水量 / 200mL/m²

シバッチ[®] 乳剤 作用機構



シンジェンタ ジャパン株式会社

®はシンジェンタの登録商標

殺草スペクトラム

雑草名		発生前散布		
		0.25ml/m ²	0.3ml/m ²	0.4ml/m ²
イネ科	メヒシバ	●	●	●
	アキメヒシバ	●	●	●
	スズメノカタビラ	●	●	●
	エノコログサ	○	○	○
	スズメノヒエ(実生)	●	●	●
キク科	ウラジロチチコグサ(実生)	○	○	●
	オオアレチノギク	●	●	●
	セイヨウタンポポ(実生)	○	●	●
	トキンソウ	○	○	○
	ハキダメギク	○	○	●
	ハハコグサ	○	○	●
	ヒメムカシヨモギ	○	●	●
	マメカミツレ	○	○	○
アブラナ科	タネツケバナ	○	○	●
	ナズナ	○	○	●
カタバミ科	カタバミ	○	○	○
ゴマノハグサ科	オオイヌノフグリ	○	●	●
	タチイヌノフグリ	○	●	●
シソ科	ホトケノザ	●	●	●
トウダイグサ科	コニシキソウ	×	△	△
ナデシコ科	オランダミミナグサ	○	○	○
	ツメクサ	●	●	●
	ハコベ	●	●	●
マメ科	カラスノエンドウ	○	○	○
	ヤハズソウ	×	×	△
カヤツリグサ科	ヒメクグ(実生)	●	●	●

●:完全枯殺 ○:ほぼ枯殺 ○:効果あり △:やや不十分 ×:効果なし

シバッチ 植物に対する安全性及び薬害

その①

シバッチ・コウライシバなど日本芝に安全にご使用いただけます。

その②

寒地型西洋芝に対して強い薬害を生じる恐れがありますので、散布にあたっては十分注意をしてください。

その③

周辺樹木、花には直接薬液がかからないように注意してください(フジの新芽に対する処理で枯れ現象が確認されています)。

シバッチ 薬剤の性状

●人畜に対する安全性(普通物)

急性毒性(製剤):ラット経口LD₅₀:5,000mg/kg(♂)、
2,515mg/kg(♀)
ウサギ経皮LD₅₀:>2,000 mg/kg(♂,♀)

●環境に対する安全性

水産動物に対する影響(製剤):コイ LC₅₀:9.3 mg/L(96時間)
ミジンコ EC₅₀:9.3 mg/L(48時間)

人と環境に配慮した
優しい薬剤です

シバッチ 成分および性状

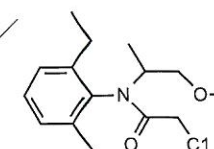
●一般名/S-メトラクロール 83.7%

●剤型/乳剤

●試験名/SYJ-111EC

●化学名/(S)-2-クロロ-2'-エチル-N-(2-メトキシ-1-メチルエチル)- 6'-メチルアセトアニリド及び(R)-2-クロロ-2'-エチル-N- (2-メトキシ-1-メチルエチル)-6'-メチルアセトアニリド

●構造式



●外観/黄赤色可乳化油状液体

適用雑草の範囲および使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	1m ² 当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	メトラクロール及び S-メトラクロールを含む 農薬の総使用回数
			薬量(mL)	希釈水量(mL)			
日本芝	一年生雑草	春期雑草 発生前 (芝生育期)	0.25~0.4	200~300	3回以内	全面土壌 散布	3回以内

注意事項

効果・薬害等の注意

- (1) 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- (2) 発芽後の雑草に対しては、効果が劣るので必ず雑草発生前に時期を失ないように散布してください。
- (3) 有機物の多い土壌や粘土質の土壌では所定範囲内で多めの薬量を散布してください。
- (4) 寒地型西洋芝では薬害を生じる恐れがあるので、付近にある場合にはかからないように注意してください。
- (5) 本剤の使用に当たっては、その日の天候に留意し、降雨が予想される時には使用を避けてください。
- (6) 散布液の飛散や流出によって、周辺の有用作物に影響を及ぼすことのないよう十分に注意して散布してください。
- (7) 使用後の容器は圃場などに放置せず、環境に影響のないように適切に処理してください。
- (8) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

安全使用上の注意

- (1) 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の指導を受けてください。
- (2) 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗顔・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- (3) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。(4) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- (5) 公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布区域に立ち入らないよう縄圍いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

水産動植物に関する注意:使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切ってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないように適切に処理してください。